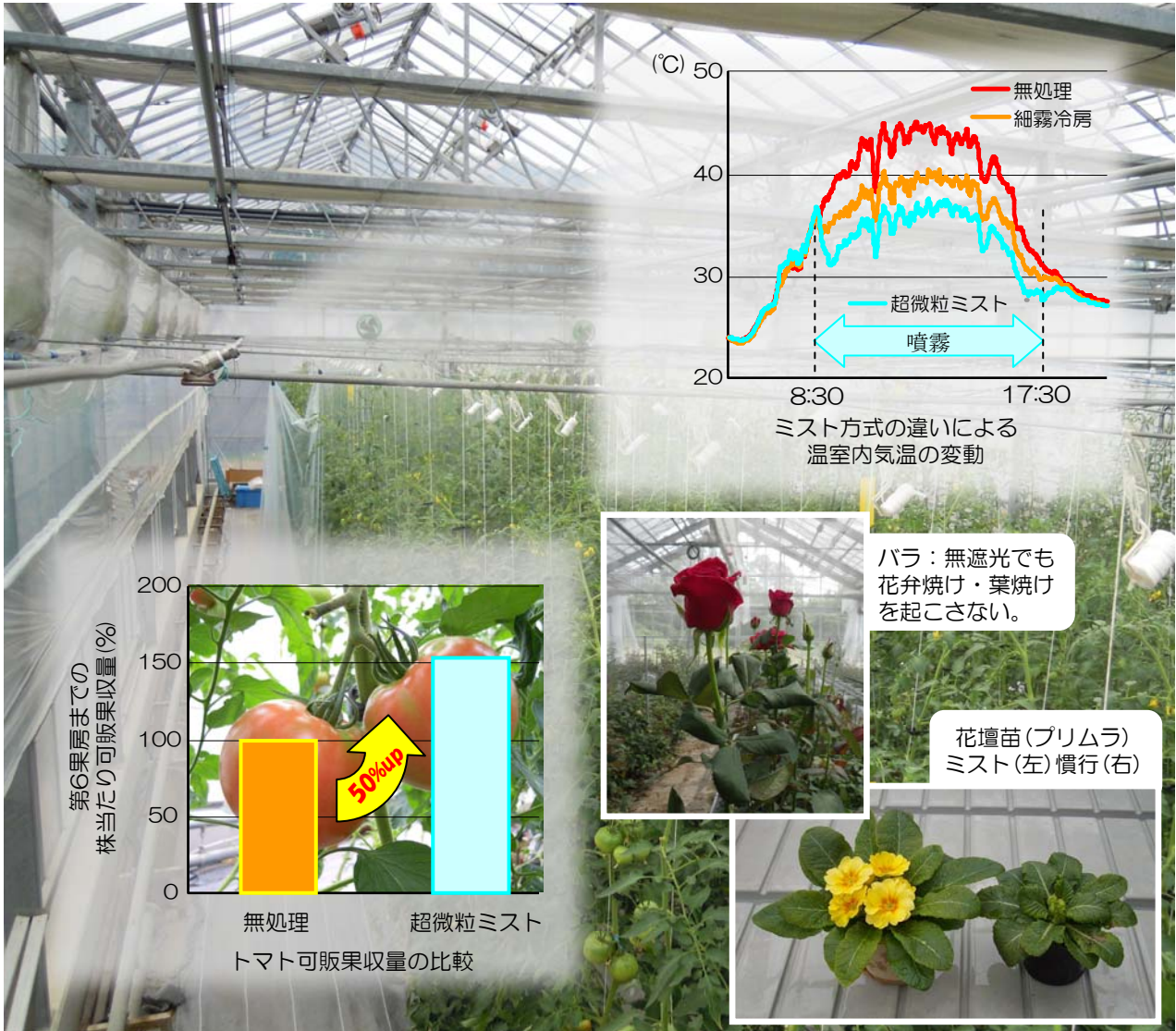


超微粒ミストを用いた夏期高温対策技術を開発



本研究は農林水産省実用技術開発事業で実施しました。

超微粒ミスト（粒径14～17 μ m）を用いたランニングコストが安い夏期高温対策技術を開発しました。

超微粒ミストは植物を濡らすことがないため、連続噴霧することができ、温室内の気温を4～7 $^{\circ}$ C、均一に下げることができます。

トマトでは、年内の可販果収量が無処理より50%増え、バラでは、夜間冷房（23 $^{\circ}$ C）と組み合わせると、無遮光でも40%増収し、品質も向上しました。

花壇苗では、多くの種類で出荷期が約1ヶ月前進し、これまでできなかった夏期の作付が可能となります。

（園芸研究部）